

LC PARTS(TRD)

MS342-11001/2/3
リヤスポイラー

取付取扱要領書

この度はLC PARTS (TRD) リヤスポイラーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本書には、上記商品の取付・取扱要領について記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合

品 番	塗 装 色	適 合 車 種	型 式	年 式	備 考
MS342-11001-A1	ホワイトノグアガラスレーク (083)	LC500 LC500h	URZ100 GWZ100	'17.03 ~	
MS342-11001-C0	ブラック (212)				
MS342-11001-C2	グラファイトブラックガラスレーク (223)				
MS342-11002-NP	未塗装品 (プライマー処理品)				
MS342-11003	共通品 (212)				

*ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着は出来ません。

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

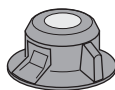
■ 構成部品

	部 品 名	品 番	数 量	備 考
①	リヤスポイラー		1	
②	クリップナット		1	
③	パッキン		1	
④	型紙		1	A3シール
⑤	取付取扱要領書		1	本書は大切に保管してください。

①



②



③



④



型紙

⑤



取付け上のご注意（取付け作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



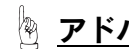
警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。



注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または「(株)タクトイー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

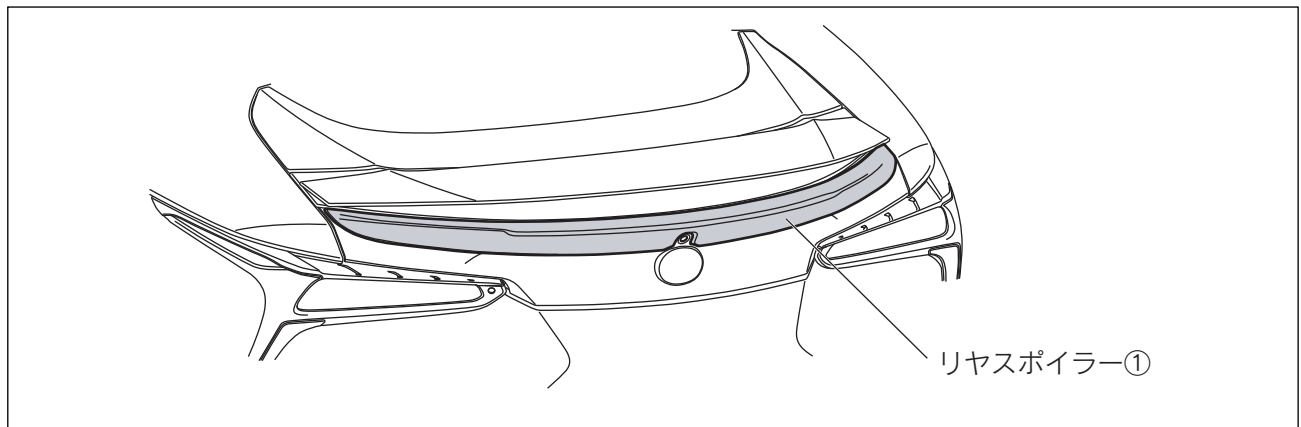
■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図・・・・・・・・・・ 1
2. 取付け上のご注意(取付け作業の方へ)・・・・・・・・・・ 2
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図・・・・・・・・ 3
4. 取付け要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～8
5. 取付け後の確認・点検・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

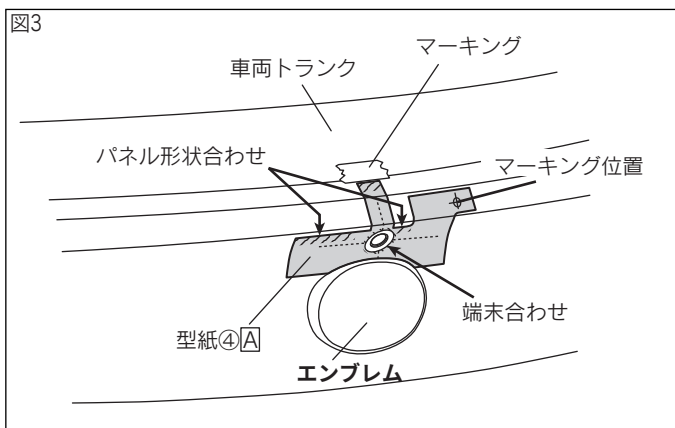
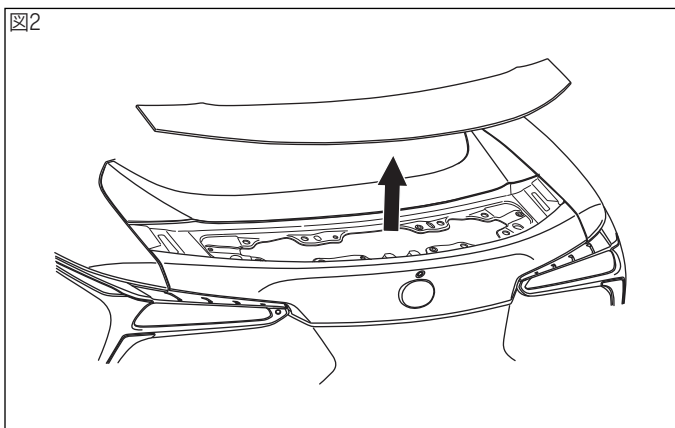
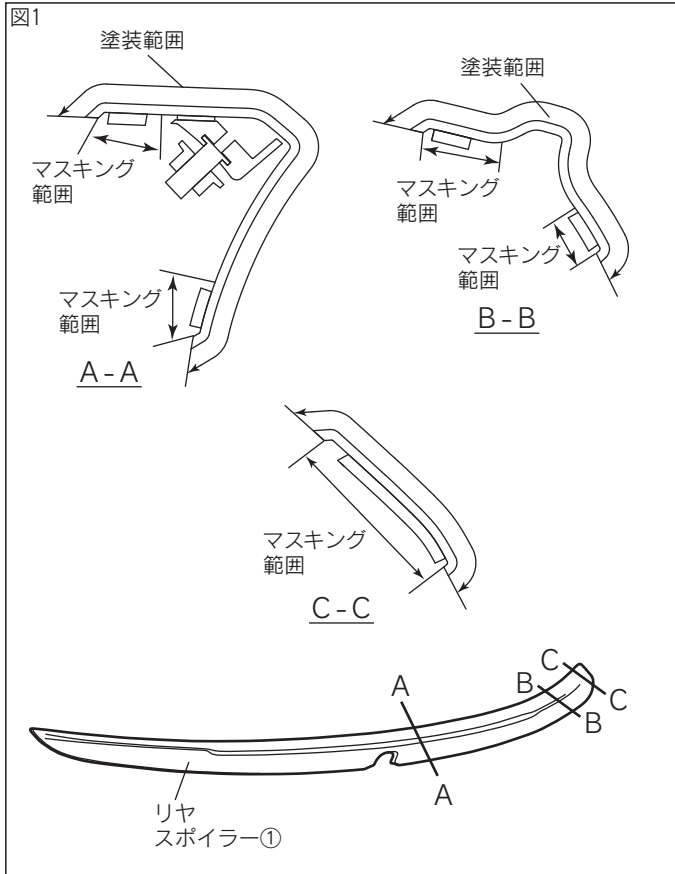
- ・加工用工具（ハサミ、カッター、ドリル、キリ、ホルソー等）・ヤスリ
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 取付構成図



■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品 (MS342-11002-NP) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



□リヤスポイラーの塗装

1. 図1のようにリヤスポイラー①を塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下、IPAという）又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

△注意：両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には充分注意してください。強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。

□リヤスポイラー取付準備

1. 車両トランクの内張りを取外す。

△注意：内張りを取外す際は、車両修理書を参照し、部品の破損に注意してください。

△注意：内張りを取外さずに穴あけ加工を行うと、トランク内の配線等を傷つけるため注意してください。

※可変ウィング仕様の場合のみ、下記2.の作業を行って下さい。

2. 図2のように、車両の可変ウィングを外す。

△注意：可変ウィングを取外す際は、車両修理書を参照し、部品の破損に注意してください。

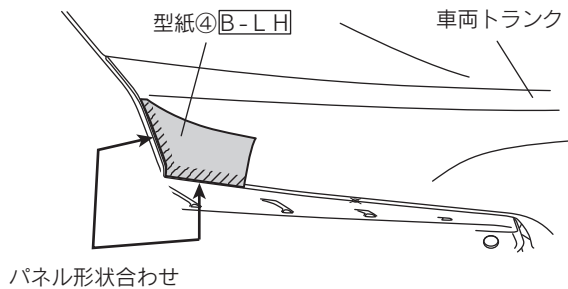
3. 図3のようにカメラ周り端末合わせとパネル形状合わせ、型紙④Aを貼付ける。

4. 図3のように、マスキングテープにてリヤスポイラー①の中央取付位置をマーキングし、穴位置にキリ等でマーキングする。

5. 型紙④Aをはがす。

👉 アドバイス：型紙の十字ラインのタテ線が左右均等の寸法になっていることを計測して、トランクパネルのセンター位置を確認してください。

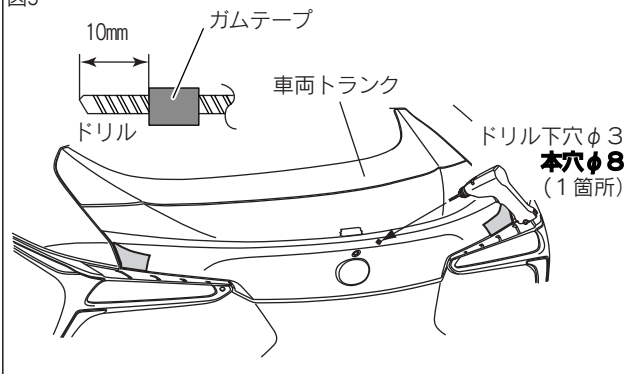
図4



6. 図4のように、車両トランクの端の
パネル形状に合わせて型紙④Bを貼付ける。
(左右各1箇所)

△ 注意：中央取付位置のマスキングテープ、
両端の型紙④Bは、リヤスポイ
ラー①の取り付け位置出しに必要
な参考位置となる為、作業終了ま
で剥がさないでください。

図5



7. 図5のように型紙をすべて剥がし、使用
するドリルの先端にストッパーとなるよう10
mmの位置にガムテープを巻付け、φ3mm、
φ8mmの順にドリルを使用して車両トランク
のマーキング位置に穴をあけ、穴のバリを
取除く。(1箇所)

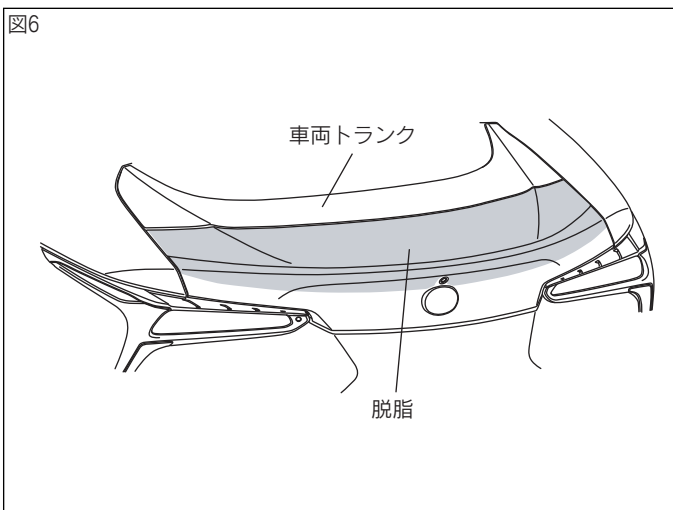
🔧 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴
あけ面に対して垂直にし、
マーキング位置からズレな
いように注意してください。

△ 注意：作業時は保護メガネを着用してく
ださい。

△ 注意：バリを取除く時には、穴径が大き
くならないように注意してヤスリ
等で取除いてください。

△ 注意：穴あけ加工時は、車両トランク内
の配線等を傷つけないように注意
してください。

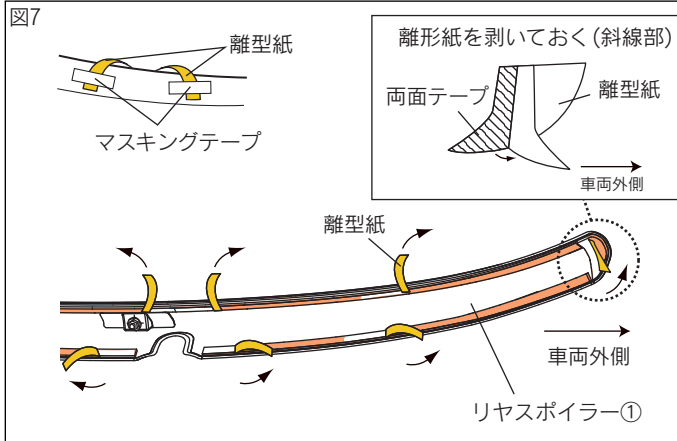
図6



8. 図6のように車両トランクのリヤスポイ
ラー①取付部の汚れを取り除き、IPA又
はホワイトガソリンで方向にふいて脱脂
する。

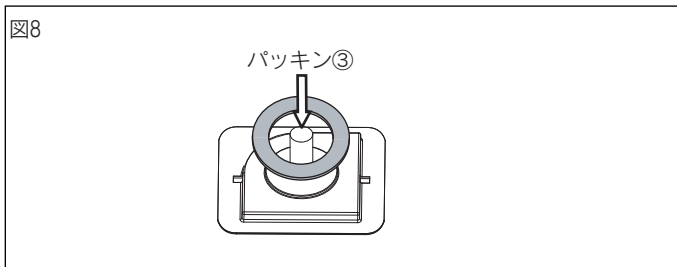
⚠ 警告：ポディーコーティングが施されて
いる場合は、塗装にキズをつけな
いよう、コンパウンド等で除去し
た上で、必ず脱脂を行なってくだ
さい。

△ 注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイト
ガソリンを使用し、パーツクリ
ーナーは使用しないでください。
油脂分が残り、テープが剥がれる
原因になります。

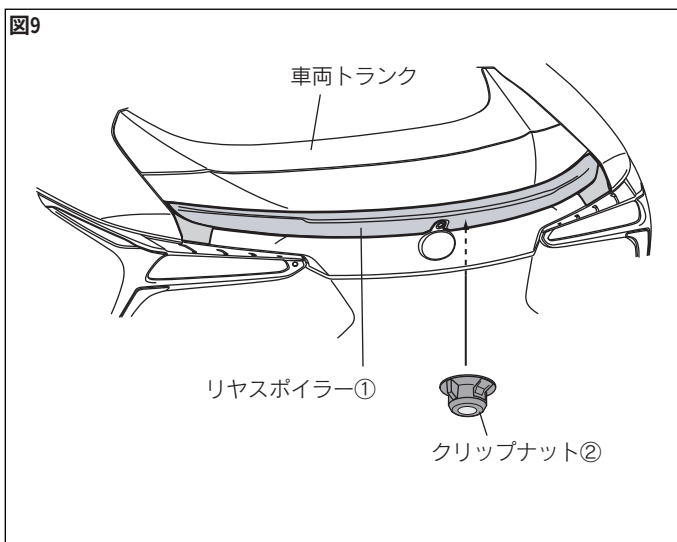


9. リヤスポイラー①の両面テープの離型紙を、図7のように中央から外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。
(左右各5箇所)

⚠注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。



10. リヤスポイラー①のボルト座面に図8のようにパッキン③を貼付ける。
(1箇所)



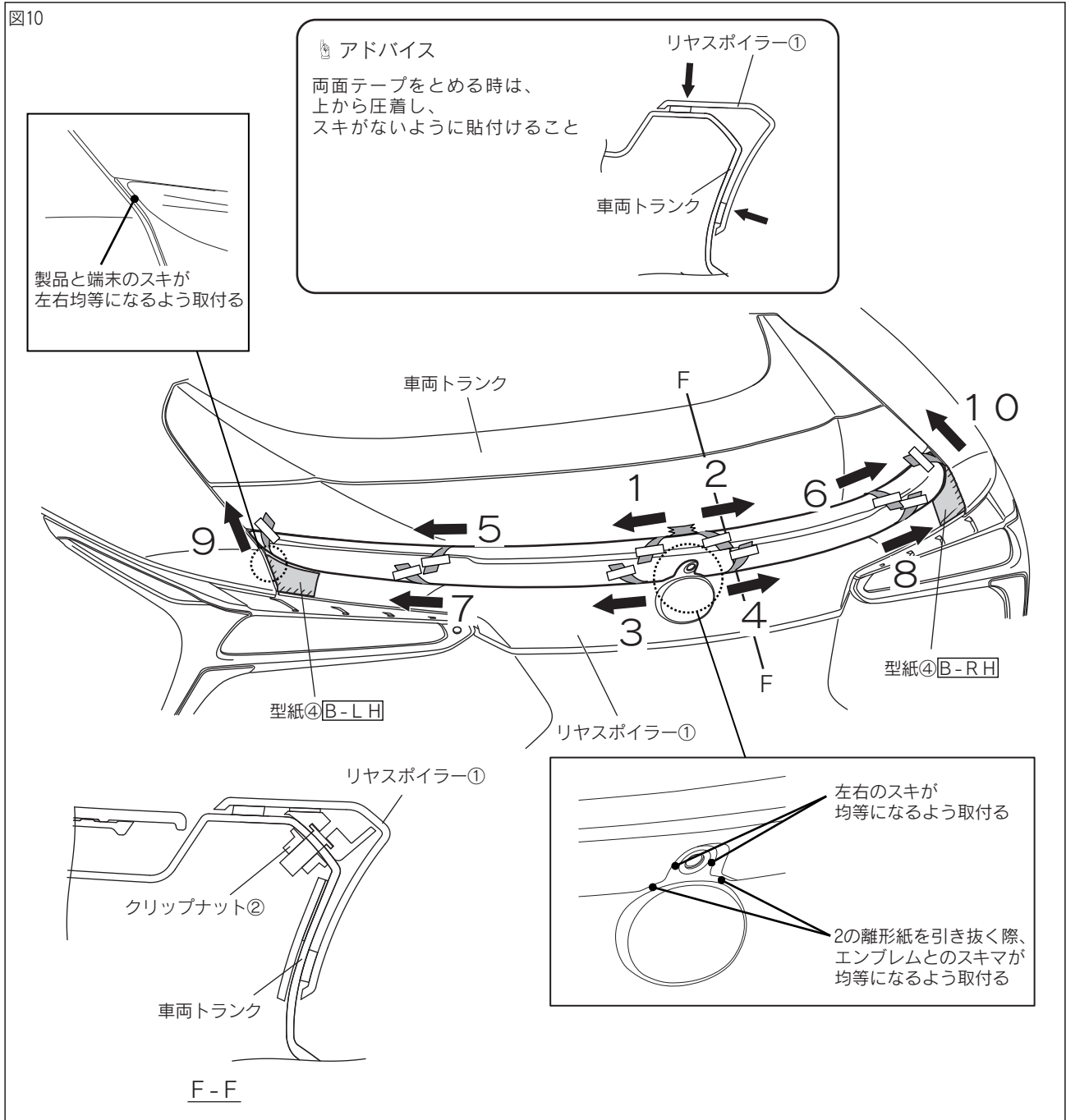
□取付要領

1. リヤスポイラー①を車両トランクに合わせ、車両トランクの内側からクリップ②を仮締めする。
(1箇所)

⚠注意：クリップナット②以外のナット等での取り付けは行わないでください。

⚠注意：クリップナット②取付けの際、トランクパネルの末端で怪我しないよう、注意してください。

図10



2. 図10 のようにリアスポイラー①が左右中心の位置にきているか両端の型紙④で確認し、上端の取付高さ位置をマスキング位置に合わせ、両面テープの離形紙(左右各5箇所)を上図番号順に剥がしながら貼付け圧着する。
{49N (5kgf) 以上}

3. クリップナット②を手で本締めする。

⚠注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠アドバイス：トランクスポイラーの位置決めは型紙の位置を参考に、ボディパネルの形状に押し付けるように合わせてスキが無いように行ってください。

⚠注意：両面テープの離形紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠注意：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

⚠注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

4. 位置出し用に用いたマスキングテープと型紙を剥がす。

※可変ウィング仕様の場合のみ、下記5.の作業を行って下さい。

5. 修理書に従い、取外した可変ウィングを復元する。

⚠ 注意：可変ウィングを復元する際は、車両修理書を参照し、部品の破損に注意してください。

6. 修理書に従い、取外した車両トランクの内張りを復元する。

⚠ 注意：内張りを復元する際は、車両修理書を参照し、部品の破損に注意してください。

⚠ 注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。



アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付後は最短3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、かからないようにオープンタイム（静止時間）をお取ください。

■取付完了後の点検・注意事項

1. リヤスポイラーがクリップナットにて、車両に確実に取付けられているか点検してください。
2. リヤスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検してください。